

みなさんこんにちは、いつもの白衣の恵子先生です。みなさんが今ハマっているものは何ですか？先生は喜多川泰という作家の作品にハマっています。そして、★★先生と最新作の『いただきます』について「いいよね～。みんなにも読んでほしいよね～」と盛り上がっています。最近になって本屋さんの棚にも彼の作品が多く見られるようになりました。その中に「今すぐ勉強したくなる」という読者の声が帯になっている本があり、もちろん先生は例に漏れず、それを手に取りました。その本は、手紙屋といって手紙のやり取りを仕事にしている方との 10 通のやり取りを通して、主人公が成長していく物語です。その 1 通目の返信のお手紙にはこんな事が書かれていました。「勉強はひとつの道具に過ぎない。世の中には便利な道具がたくさんあります・・・どんな家庭にだって包丁やハサミといった刃物は必ずあるし、それらがすべてなくなった場合の不便さなんて想像もできないでしょう？最近ではコンピューターという便利な道具だってあります。一台置いておけば世界中の人々とつながることだってできます。このように道具というのは、なんらかの不便さを解消するためにこの世に生み出された便利なものです。ところが、これらのすべての道具には良くない使い方もあります。ナイフは人を傷つけることができます。コンピューターだって使い方を誤れば人を傷つける事になりかねません。こう考えると道具そのものに「善悪」があるのではなく、それを使う人次第なんだって分かります。勉強も一つの道具です。・・・考えるべきは、何のためにその道具を使おうとしているのか。・・・勉強という道具を正しく使って、自分の人生にはなくてはならない便利な道具として活用してもらいたい。そのためには考えてもらわなければなりません。じゃあ、勉強は何をするための道具なの？（一部抜粋）」と。こんなお手紙が来たら、さて、みなさんならどんな返事を書きますか？自分なりの考えを持てたら、手紙を書いて、ぜひ担任の先生に見せてみてください。続きが気になった人は、この本『手紙屋～蛍雪篇～』を読んでみてくださいね。

さて、今週は 3 年生が消防署と益子へ校外学習に行ってきました。その学びを少～し紹介しますね。

私は消防署に行って、働く人たちはすごいなあと思いました。消防士さんのトレーニングや 1 日の過ごし方は、私には耐えられないなあと思いました。でも、とてもかっこよかったです。

出動するのを早くするために、何がどこにあるのか、使ったものは元の場所に戻すなど細かな部分まで気にしています。すごいいいと思いました。

着替えをするのが 30 秒ですごく良かったです。24 時間対応できるのは、交換しているからと分かりました。

早着替えを見て、少しでも早く現場に駆けつけられるように努力していると知って、人を助けたいという気持ちがすごくあるんだなあと思いました。

益子焼の窯の温度は 1200 度だとわかりました。作る前に詳しく教えてくれて分かりやすかったです。作っているときに、広げ方や細め方を教えてくれて嬉しかったです。

益子焼体験をする前は、同じ形を作るのが普通のことだと思っていましたが、やってみると同じように作るのはすごく難しいと思いました。

益子焼の粘土は益子で採れた粘土を使っているなんてすごいいいと思いました。出来上がりが楽しみです。

初めて粘土を触ったときに冷たくて気持ちいいと思いました。難しいと思って心配だったけど、やり方を覚えていくと、どんどん楽しくなりました。

作るのが難しかったけど、楽しかったです。It is so fun.

見てきたものは同じでも、一人ひとりの学びの視点が違って、面白いですね。だからこそ、一緒に学ぶことの価値があるのだと思います。

消防士さんの消火活動も、鎮火するまで粘り強く、救助者を助け出すまで粘り強く活動しますね。益子焼の作品を作るのも、納得のいくまで粘り強く、粘土をこねたり、ろくろを回したりします。そう、「最後まで粘り強く取り組む」

というのは、大人になっても必要な力なんです。だからこそ、今から少しずつこの粘り強さを身に付けてほしい。やる前から投げ出さず、昨日の自分を超えていく強さを身に付けてほしい。そう願うのです。勉強も持久走も、昨日の自分を超えてゆけ!!三連休を充実したものにしてくださいね。

それではまた来週、See you next week! Have a nice weekend!!